

## ◎ 特別支援教育部門

### 1 本年度の設置状況及び会員数

設置学校数	種別	設置学校数		担任数		学級数		児童生徒数	
		小	中	小	中	小	中	小	中
小 32校	知的障害学級	24	12	30	15	24	13	73	36
	自閉症・情緒障害学級	25	13	28	14	25	13	69	26
中 17校	難聴学級	2	3	2	3	2	3	3	3
	病弱学級	3	0	3	0	3	0	3	0
	肢体不自由学級	6	3	6	3	6	3	9	3
	弱視学級	2	0	2	0	2	0	2	0
	通級指導教室(LD/ADHD)	4	1	4	1	4	1	28	6
合計 48校	合計	32	17	75	36	66	33	187	74

### 2 研究会の組織

- ・会長 坂本 吉章(富岡小校長)
- ・事務局 泉 吉章(有明中)
- ・研究委員 大西 淳子(本町小)
- ・副会長 那須さとみ(浦和小校長)
- ・運営委員 明瀬 理恵(倉岳小)
- ・研究委員 堤田 久美(富岡小)

### 3 本年度の活動状況

月	日(曜)	☆特別支援学級関連行事 ◆担任研修会 ※各自選択参加
5	29(木)	研究委員会(年間計画、役割分担)
6	19(金)	◆第1回担任研修会(組織作り、年間計画、教育課程講話、ブロック協議 他) ※4(木)・11(木) ※ 天草支援学校オープンスクール
		※選択参加 ◆第2回担任研修会 (※夏季研・セミナー・支援学校公開授業・基礎講座より各自選択参加)
8	※4(火)	※ 県特研夏季研修会
	5(水)	ブロック代表者会議(各行事計画案、研修計画、実践発表):五和中
	※17(月)・18(火)	※ 特別支援教育基礎講座(天草支援学校 他)
	26(水)	◆第3回担任研修会(各行事計画、実践発表)
10	8(木)	☆あきのつどい(学習成果発表会) 場所:五和中学校
	18(日)	☆天草支援学校であいふれあいフェスタ 場所:天草支援学校
11	10/31 ~11/3	☆都市文化展(特別支援学級児童生徒作品展)場所:天草教育会館
1	14(木)	研究委員会(年間反省、第4回担任研に向けて)
2	23(火)	◆第4回担任研修会・講演会(講師:星槎大学 阿部利彦准教授・年間反省)



▲秋のつどい(学習成果発表会)



▲天草都市文化展 特別支援学級作品展

### 4 本年度の成果と課題

#### ○担任研修会 (特別支援学級・通級指導教室)

第1回研修では、教育課程編成についての講話(講師:本渡南小・赤城教諭)、第3回研修では「進路指導」に関する実践発表(講師:五和中・川端教諭、天草支援学校・大寺教諭)を行った。多様な学びの場における教育課程の編成や、将来の進学や就労を見据えた進路指導の実践に深く学ぶことが出来た。第2回担任研は、夏季研・基礎講座・支援学校研究発表等から、各自選択し研修している。さらに、第4回研修では星槎大学阿部利彦准教授による講演と、年間反省を行った。今後も担任の専門性向上のための研修の充実を図るとともに、担任間や地域の連携をより深める機会としていきたい。

#### ○天草都市文化展「特別支援学級作品展」

小中学校の通常の学級の書写や絵画、科学展などと合同で開催している。(学習成果発表会の展示の部と併催)各自1作品の展示で天草の地域素材を使ったものや、個性を生かした作品などバラエティーに富んだ作品が揃い、よい啓発の機会となっている。また、今年度から部門独自で賞状を作成。児童・生徒にとっては表彰を受ける貴重な機会となっている。近年、在籍数の増加とともに展示スペースの確保が課題になっている。

#### ○合同行事「第13回あきのつどい(学習成果発表会)」

県教委との共催で6年目となった。ようかい体操第2のダンス発表や、希望各団体によるステージ発表を行った。歌や体操、合奏、地域や学校紹介など、バリエーションに富んだ内容であった。また、児童・生徒が中心となった司会進行や、発表中の聞く態度も年々向上してきている。午後からの交流活動では、友情じゃんけんやボール運びリレー、宝さがしなど、他校の子どもたちとふれあう活動を行い楽しい時間となった。さらに、教育事務所の協力で、「親の学びプログラム」を実施し、保護者間の交流を深めることができた。

#### ○天草であいふれあいフェスタ(天草支援学校との交流行事)

今年度は上天草・上島地区が参加した。ステージ発表の部に参加した他、太鼓演奏や支援学校等のバザーなど、児童生徒・保護者ともに楽しんで参加できた。また、天草地域の各事業所の出店も多く、買い物学習や支援学校への進学や就労等の進路学習の機会としても有意義なイベントとなっている。



▲あきのつどいポスター 生徒作品